

I 結果の概要

1 本県の課題

各教科区分に共通する課題

記述式の正答率が低い

無解答率が高い

	前回の課題	今年度の課題	詳細
小学校国語	◆記述式（文章の構成や記述方法など複数の条件に応じて書く）	◆記述式（文章の構成や記述方法など複数の条件に応じて書く） ◆ローマ字を書く、読むこと	P 12
小学校算数	◆数と計算（小数の減法、四則計算）	◆数と計算（小数の減法、四則計算） ◆図形	P 30
児童質問紙	◆算数への関心等 ◆学習習慣	◆算数への関心等 ◆学習習慣	P 54 P 62, 74
小学校 学校質問紙	◆個に応じた指導 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆家庭学習 ◆学力向上に向けた全国学力・学習状況調査の結果の活用	◆個に応じた指導 ◆学力向上に向けた取組・指導方法 ◆家庭学習 ◆小学校教育と中学校教育の連携 ◆学力向上に向けた全国学力・学習状況調査の結果の活用	P 64 P 68 P 70, 76 P 88 P 91
中学校国語	◆漢字の書き◆記述式（複数の資料を意図的に関係付けて記述する）	◆漢字の書き	P 20
中学校数学	◆資料の活用	◆関数 ◆図形 ◆資料の活用 ◆記述式	P 40
生徒質問紙	◆理科への関心等◆総合的な学習への関心等◆学習習慣	◆国語への関心等 ◆総合的な学習への関心等 ◆学習習慣	P 52 P 56 P 62, 74
中学校 学校質問紙	◆家庭学習◆学力向上に向けた全国学力・学習状況調査の結果の活用	◆家庭学習 ◆小学校教育と中学校教育の連携 ◆学力向上に向けた全国学力・学習状況調査の結果の活用	P 70, 76 P 88 P 91

*本冊子における千葉県・全国の平均正答率及び平均正答数は、公立学校に在籍する児童生徒のものである。

2 教科区分別調査結果

*左の数値は、千葉県・全国ともに、公立学校の平均正答率（％）である。ただし、小数第1位を四捨五入してある。右の（ ）の数値は平均正答数である。

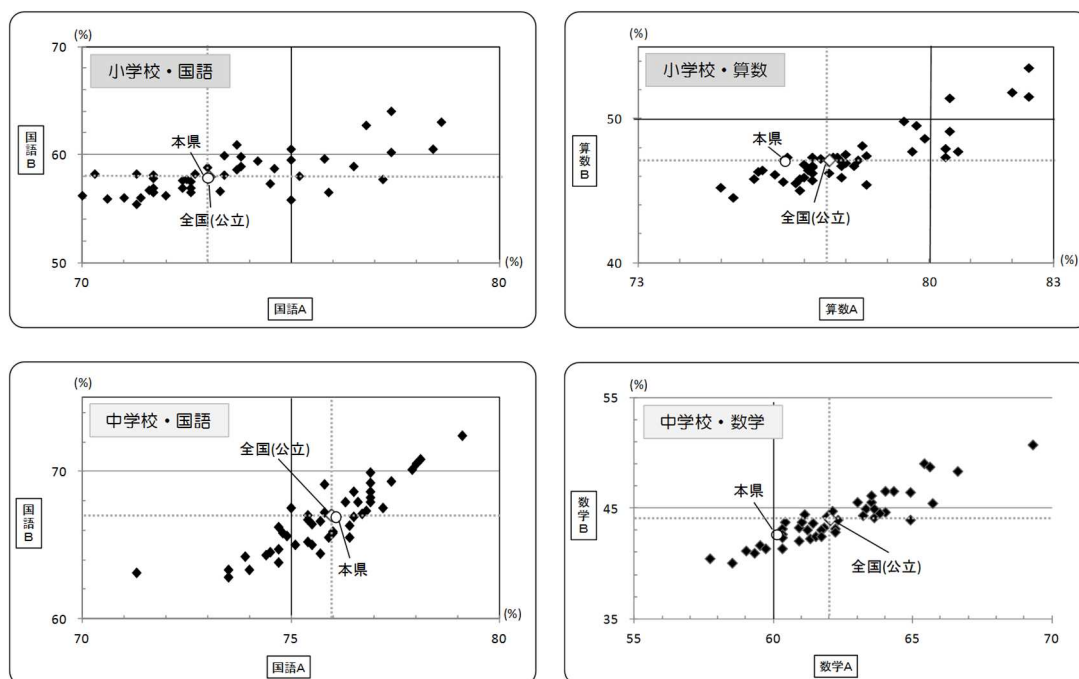
小学校	千葉県	全国	中学校	千葉県	全国
国語 A (15 問)	7 3 (10.9)	7 3 (10.9)	国語 A (33 問)	7 6 (25.1)	7 6 (25.0)
国語 B (10 問)	5 8 (5.8)	5 8 (5.8)	国語 B (9 問)	6 7 (6.0)	6 7 (6.0)
算数 A (16 問)	7 7 (12.2)	7 8 (12.4)	数学 A (36 問)	6 0 (21.7)	6 2 (22.4)
算数 B (13 問)	4 7 (6.1)	4 7 (6.1)	数学 B (15 問)	4 3 (6.4)	4 4 (6.6)

教科に関する調査結果について、本県の平均正答数は、全国平均と同程度である。

3 本県及び各都道府県の状況（平均正答率の分布）

・下のグラフは、教科に関する調査結果について、主として「知識」に関する問題（「A」問題）の正答率を横軸に、主として「活用」に関する問題（「B」問題）の正答率を縦軸にとり、全国と各都道府県のそれぞれの平均正答率をプロットしたものである。グラフ上の点（◆）は、他都道府県の結果を示す。

*全国の平均正答率は、小数第1位を四捨五入した整数値で表してあるが、次の千葉県及び他都道府県の調査結果は、小数第1位までの数値を用いている。



本県は、中学校・数学A、数学Bが全国を下回り、他は同程度であった。

*上は全国（公立）を100として、千葉県（公立）の結果を相対的に表した数値をもとに記述した。
詳細は、4、5ページ参照。

4 教科に関する調査

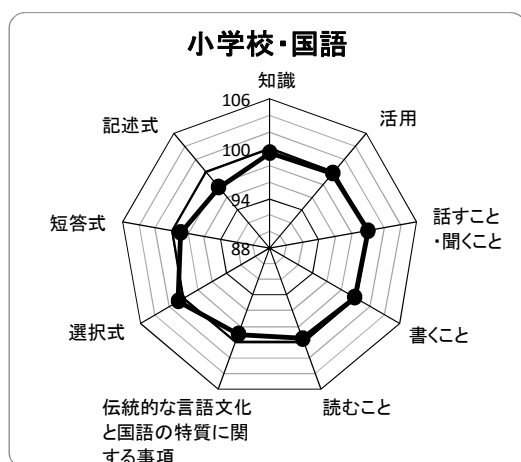
(1) 国語

【小学校】

知識（国語 A），活用（国語 B）ともに全国と同程度である。領域等の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」が全国をやや下回る。問題形式では「記述式」が全国を下回り，課題として挙げられる。

平均正答率（％）

小学校	千葉県(公立)	全国(公立)
国語 A	73	73
国語 B	58	58



知識／活用	知識	99.5
	活用	99.8
領域等	話すこと・聞くこと	100.0
	書くこと	99.8
	読むこと	99.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	99.0
問題形式	選択式	100.7
	短答式	98.9
	記述式	97.6

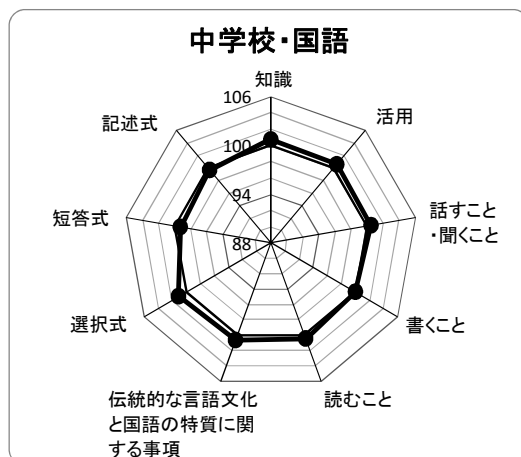
※全国（公立）を 100 として千葉県（公立）の結果を相対的に表している。

【中学校】

知識（国語 A），活用（国語 B）ともに全国と同程度であり，領域等も全て全国と同程度である。また，問題形式の「記述式」は昨年度より改善が見られた。

平均正答率（％）

中学校	千葉県(公立)	全国(公立)
国語 A	76	76
国語 B	67	67



知識／活用	知識	100.7
	活用	100.6
領域等	話すこと・聞くこと	100.5
	書くこと	100.0
	読むこと	100.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	100.7
問題形式	選択式	101.1
	短答式	99.3
	記述式	99.7

※全国（公立）を 100 として千葉県（公立）の結果を相対的に表している。

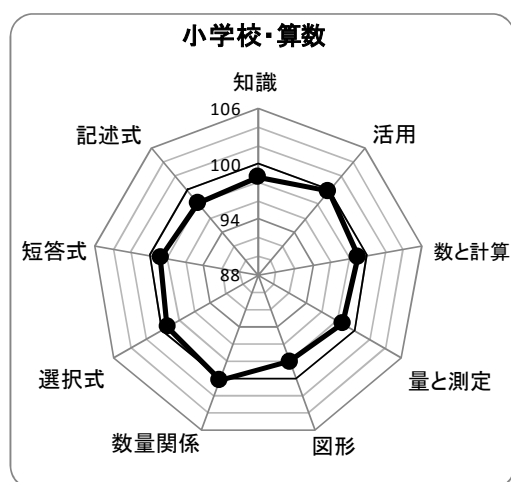
(2) 算数・数学

【小学校】

知識（算数A），活用（算数B）ともに全国と同程度である。領域別では，「数と計算」「量と測定」「図形」が全国をやや下回っており，「数量関係」は全国と同程度である。問題形式では，「短答式」「記述式」が全国をやや下回っていた。

平均正答率（％）

小学校	千葉県(公立)	全国(公立)
算数A	77	78
算数B	47	47



知識／活用	知識	98.6
	活用	99.8
領域	数と計算	99.0
	量と測定	98.6
	図形	98.1
	数量関係	100.2
問題形式	選択式	99.3
	短答式	98.7
	記述式	98.1

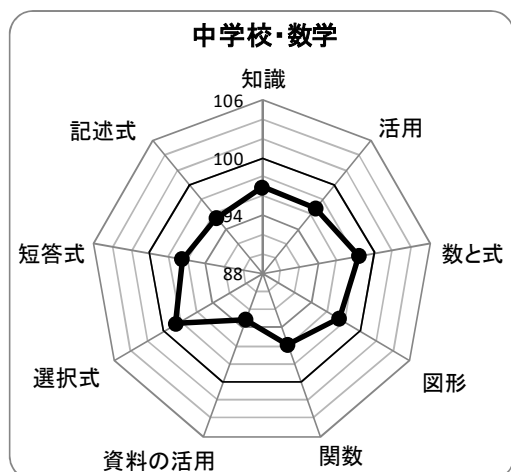
※全国（公立）を100として千葉県（公立）の結果を相対的に表している。

【中学校】

知識（数学A），活用（数学B）ともに全国より下回っている。領域別では，「図形」が全国を下回っており，「関数」「資料の活用」については大きく下回った。問題形式では，「記述式」が大きく下回った。

平均正答率（％）

中学校	千葉県(公立)	全国(公立)
数学A	60	62
数学B	43	44



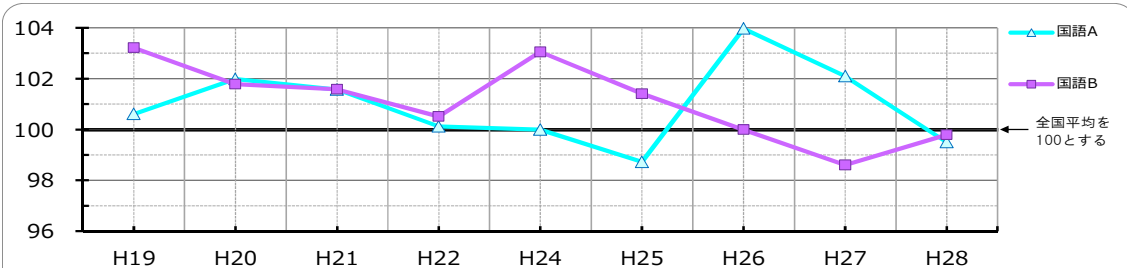
知識／活用	知識	96.9
	活用	96.8
領域	数と式	98.4
	図形	97.4
	関数	95.9
	資料の活用	93.1
問題形式	選択式	98.5
	短答式	96.6
	記述式	95.5

※全国（公立）を100として千葉県（公立）の結果を相対的に表している。

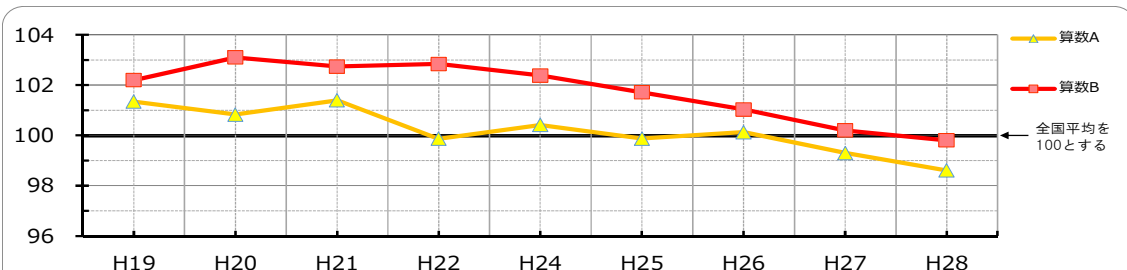
(3) 平成19年度からの本県の平均正答率（全国比）の推移

今年度で全国学力・学習状況調査が開始されてから、10年目を迎えた。10年間の推移を見ると、小学校においては、全体的に低下しており、中学校においては、数学Aが調査開始以来、全国平均に達しない状況が続いている。

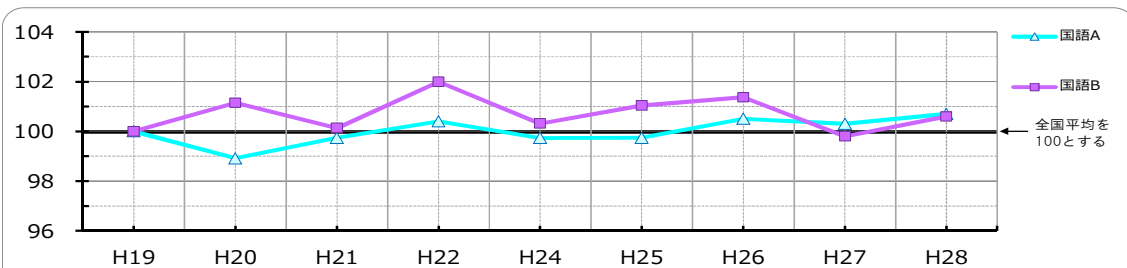
小学校国語



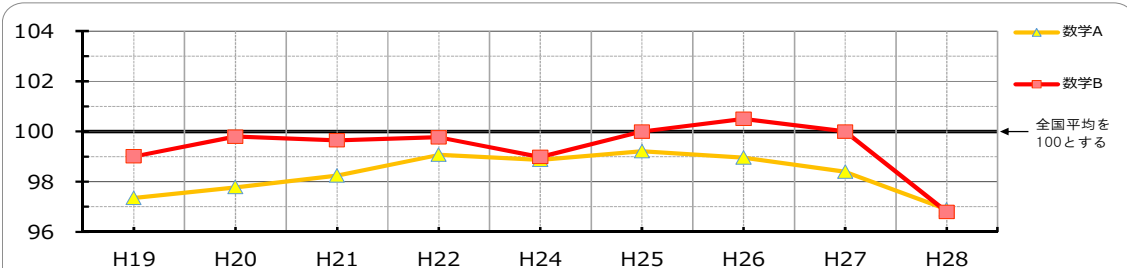
小学校算数



中学校国語



中学校数学



※平成24年度は抽出調査のため、平均正答率については95%信頼区間の中央値を表しています。
 ※指数は、小数第1位までの平均正答をもとに算出しているため、教科区分別調査結果を用いた値と一致しない場合があります。

※平成23年度は、東日本大震災の影響を考慮し、実施が見送られた。

(4) 3年前の小学6年時と現中学3年時との比較

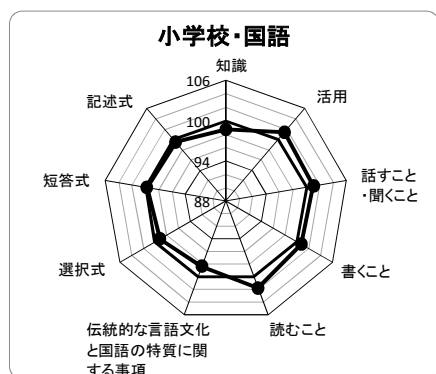
＜平成25年度の小学校第6学年と平成28年度中学校第3学年との比較＞

今回実施した全国学力・学習状況調査の中学3年の平均正答率の結果が、平成25年度に実施した小学6年時と比較して、どのように変化したかをレーダーチャートで示した。

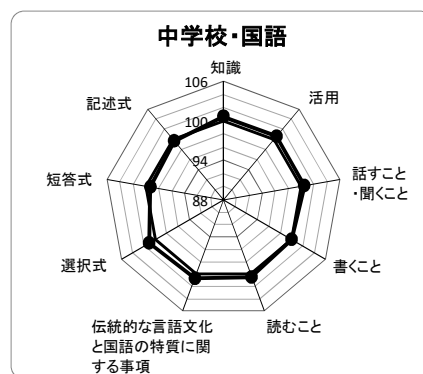
レーダーチャートは全国平均（公立）を100として千葉県の子童生徒の結果を相対的に表したものである。

【国語】

平成25年度 小学校第6学年



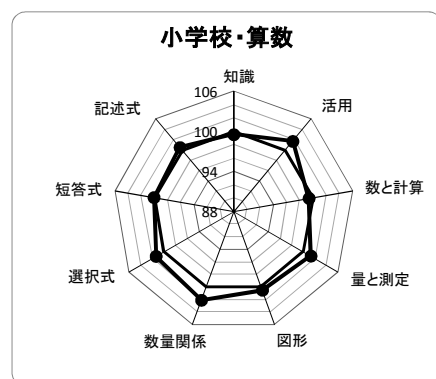
平成28年度 中学校第3学年



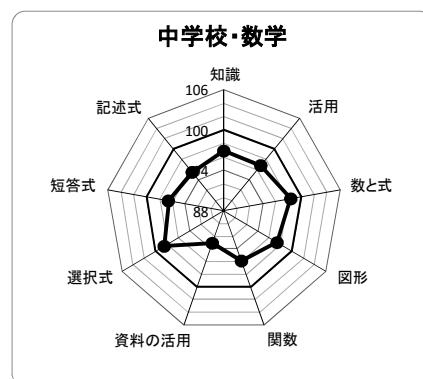
国語では、「知識」は変化が見られないが、「活用」は低下している。その他の領域等・問題形式は、ほとどの項目においても大きな変化が見られない。しかし、「読むこと」は低下している。

【算数・数学】

平成25年度 小学校第6学年



平成28年度 中学校第3学年



算数・数学では、中学校になると千葉県の円が全体的に小さくなっており、「知識」よりも「活用」の低下が目立つ。領域等・問題形式は、ほぼ全ての項目で低下しているが、特に「記述式」が大きく低下している。

5 質問紙調査に関する調査

※チャート図は、千葉県（公立）の調査結果について、全国（公立）を母集団として標準化したものである。内側の点線が全国平均を表している。

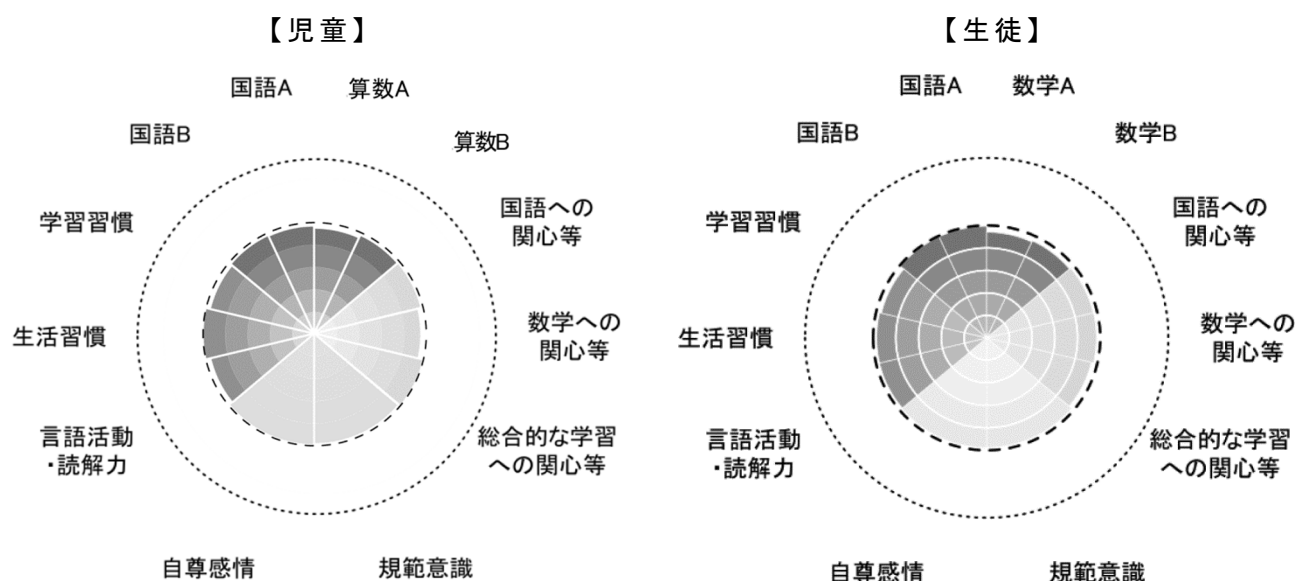
※◇は成果を、◆は課題を示している。

（１）児童生徒質問紙調査

全体的に、児童生徒ともに全国と同様の状況である。

領域別に見ると、児童生徒ともに、「算数・数学への関心等」「言語活動・読解力」「学習習慣」が平均を下回っており、継続した課題となっている。生徒は「総合的な学習への関心等」が全国を下回っている。

〈児童生徒質問紙調査と教科の結果〉



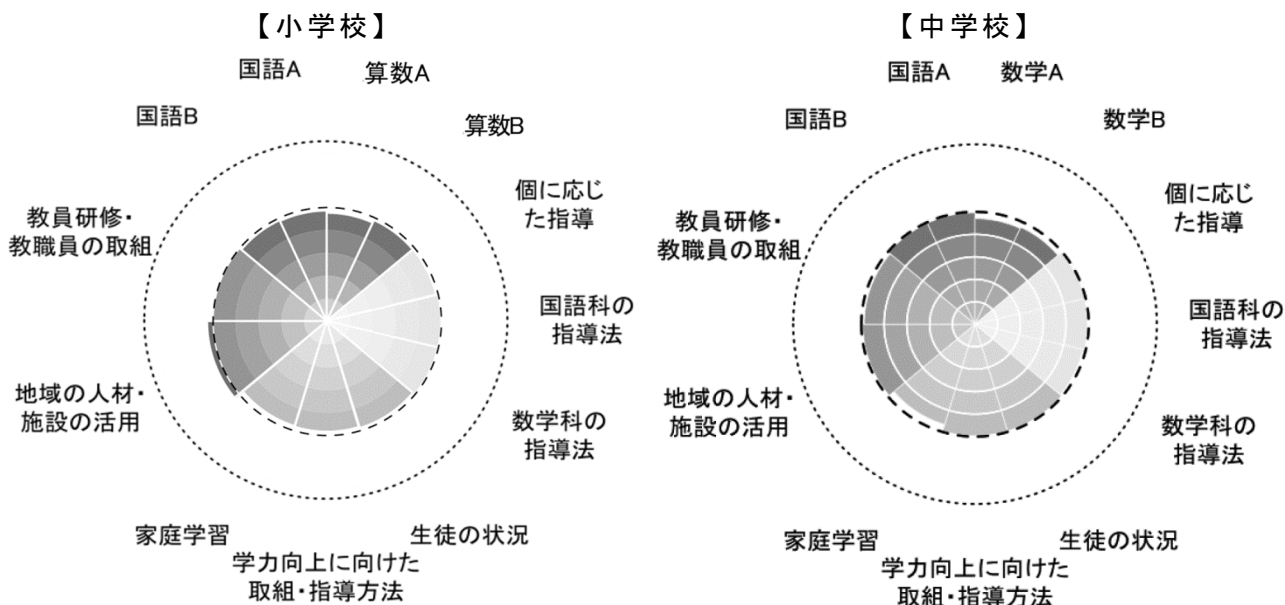
領域名		対応する質問番号	成果と課題
学習に対する関心・意欲・態度	国語への関心等	61～69	◇「国語の勉強が好き」な児童の割合は、全国を上回っている。 ◇「読書が好き」な生徒の割合は、全国を上回っている。 ◆児童の「算数への関心等」は、10項目中9項目で全国を下回っている。 ◆生徒の「総合的な学習への関心等」は、2項目が全国を下回っている。
	算数・数学への関心等	71～80	
	総合的な学習への関心等	44～46	
規範意識・自尊感情	規範意識	39～43	◇児童生徒ともに規範意識が、全国と同程度である。 ◆生徒の自尊感情が、全国をやや下回る。
	自尊感情	4～6, 9	
学習の基盤となる活動・習慣	言語活動・読解力	7, 8, 30, 48～52, 56～59	◆児童の「言語活動・読解力」は、9項目中8項目が、全国を下回っている。 ◇児童生徒の「生活習慣」は、全国と同程度である。 ◆「学習習慣」の4項目について、児童生徒ともに、4項目中3項目で全国を下回っている。
	生活習慣	1～3	
	学習習慣	21～24	

(2) 学校質問紙調査

全体的に、小中学校ともに全国と同様の状況である。

領域別に見ると、小学校では、「地域の人材・施設の活用」が全国を上回り、「個に応じた指導」が下回っている。「家庭学習」については、小中学校ともにほとんどの項目で全国を下回っている。

〈学校質問紙調査と教科の結果〉



領域名		対応する質問番号	成果と課題
教科指導	個に応じた指導法	64～66	◇中学校の「数学のチームティーチング」は、全国を大きく上回っている。 ◆小中学校ともに「習熟度別の少人数指導」は、全国を下回っている。 ◆小学校の「書く習慣を付ける授業」は全国を下回っている。
	国語科の指導法	67～72	
	算数・数学科の指導法	73～76	
学力向上	児童・生徒の状況	14～21	◇中学校の「授業でノートに学習の目標とまとめを書く」は、全国を上回っている。 ◇「本やインターネットなどを使った調べ学習の指導」は、小中学校ともに全国を上回っている。 ◆小学校の「放課後、長期休業日の補足的学習サポート」は、全国を大きく下回っている。 ◆中学校の「総合的な学習の指導」は、全国を下回っている。 ◆「家庭学習」については、小中学校ともにほとんどの項目で全国を下回っている。
	学力向上に向けた取組・指導方法	24～27 35～55	
	家庭学習	小 92～100 中 90～98	
学校経営	地域の人材・施設の活用	小 84～86 88～91 中 83～89	◇小学校の「職場見学・職場体験」は、全国を大きく上回っている。 ◆「自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている」「授業研究を伴う校内研修を実施した」は、小中学校ともに全国を下回っている。
	教職員研修・教職員の取組	小 28～34 101～116 中 28～34 99～114	

Ⅱ 結果の詳細

1 教科に関する調査